

下関医療センター 広報誌

馬肉医心

ばかんいしん

vol.17
2018
春号

I N D E X

院長就任のご挨拶	P2
新入職員のご紹介	P3
ふくの会NEWS No31	P4
春のレンビ	

PHOTO/桜並木

【理 念】

我ら全国ネットのJCHOは
地域の住民、行政、関係機関と連携し
地域医療の改革を進め
安心して暮らせる地域づくりに貢献します

【キャッチフレーズ】

安心の地域医療を支えるJCHO

【基本方針】

3つのクライアントを大切にします。

- 患者・家族の求める医療を提供する。
- 周辺の医療介護施設との良質な連携を築く。
- 職員にとって働きやすく、スキルアップできる職場環境を整える。



独立行政法人地域医療機能推進機構

下関医療センター

郵便番号750-0061 下関市上新地町3丁目3番8号
TEL.083-231-5811(代表) FAX.083-223-3077
TEL.083-231-7887(健康管理センター)
TEL.083-233-7850(介護老人保健施設)

院長就任のご挨拶



JCHO 下関医療センター
院長 山下 智省

今年度より、院長を拝命いたしました。前身である下関厚生病院からは八代目、平成26年にJCHO下関医療センターへ移行してからは二代目院長になります。

私は、平成10年に当院に赴任しました。以来、およそ20年にわたり消化器内科医として勤務し、中途より副院長を兼務して病院経営に携わってまいりました。下関医療センターが私のキャリアにとって大切な場であるばかりでなく、下関という地が現在の私を形作ってくれたと思っています。地元には根をはった経験を生かして、これからは病院長として下関のために尽力いたします。

当院は急性期病院ですが、これに加えて、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、健康管理センターを有しています。急性期疾患の診療だけでなく、介護・在宅医療・健康診断・人間ドックといった幅広い医療サービスを市民の皆さまに提供できる機能を持っています。今までに増して、これらをより充実・強化していきますので、変わらぬご利用をお願いいたします。

ところで、最近話題にのぼることの多い地域医療構想をご存知でしょうか。人口減少・少子高齢化が進むわが国において、これまで築いてきた医療体制を維持し続けることは非効率ではないのか。医師の不足や高齢化が顕著になってきた地方では、複数の総合病院が併存することは難しいのではないのか。このような課題から、必要病床数の見直しや病院再編を検討しようというのが地域医療構想です。実は下関はこの議論の真っ只中にあり、当院はその渦中にあります。

現状では、議論百出であり、どのような結論に至るかは見通せませんが、大切なことは本来の目的を忘れないことです。それは、質の高い医療・介護環境を維持し、それを提供する医療従事者を将来にわたって安定的に確保することにあります。このことをしっかり押さえておけば、必ず市民の皆さまにとって幸福な結果に達することでしょう。これも私に課せられた大切な使命であり、大変やりがいのある仕事を与えられたと思っています。

さあ、もう新年度はスタートしました。新体制で始動した下関医療センターを今後ともよろしく願い申し上げます。

新入職員のご紹介

独立行政法人 地域医療機能推進機構
下関医療センター

とくひさ よしひろ
消化器外科 部長 徳久善弘

専門分野／消化器外科

【一言メッセージ】

消化器外科を専門として、地域のみなさまに全人的な医療を提供できるように精進していきます。

おおた けいすけ
消化器外科 医師 太田啓介

専門分野／消化器外科

【一言メッセージ】

卒後6年目、まだまだ若輩者ではありますが、下関市の皆様の健康に貢献できるよう努力してまいります。

ながさわ まさあき
循環器内科 医師 長澤仁明

専門分野／循環器内科

【一言メッセージ】

山口大学病院から来ました。生まれ育った山口県で働くことを嬉しく思っています。早く皆様のお役に立てるよう努めます。

はら れいこ
皮膚科 医師 原礼子

専門分野／皮膚科

【一言メッセージ】

よろしくお願いたします。

おくら ひでみ
薬剤科 科長 小倉秀美

平成30年4月より下関医療センター薬剤科科長を拝命いたしました小倉秀美です。

前任の九州病院では、医薬品情報室や医療安全、ICU、NST、RST、災害関連、地域連携などといったことを経験させていただきました。特にこれから地域包括ケアの推進にあたり、地域の薬剤師会や医師会の先生方とも密に連携をとりあい、患者様ひとりひとりに対してきめ細かな対応も必要となってまいります。この下関の地でも、薬剤師が色々な場面で皆様と一緒に活動できるように取り組んでいくことが出来ればと思っております。

まだまだわからないことばかりですが、精一杯努力いたしますのでどうぞよろしくお願い致します。

そのほか、医師1名、研修医2名、薬剤師2名、栄養士1名、看護職員24名、社会福祉士2名の採用がありました。みんなで力を合わせ、頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



入職式



新入職員

ふくの会 NEWS

No.31

下関医療センター「ふくの会」発行 2018/4/1



青空が広がるけれどまだ肌寒い3/10(土)下関医療センター7階食堂にて、「下関ふくの会」茶話会が開催されました。総勢40名の参加がありました。

2年ぶりの茶話会!今回のテーマは「マンダラート」です。あの大谷翔平選手が高校時代から取り組んでいた発想法。どんな展開になるやら、楽しみです。

スタッフも初めての経験なので、黒一点の松本さんにご指導いただき、参加者の皆さんと共に真剣に説明を聞いていました。なんとなく理解できたところで、「やってみよう!」です。

6班のグループに分かれて、まずは大テーマを決めます。最初は皆さん「高血糖」でしたが、話を進めるうちに「低血糖」「災害」「合併症にならないためには」と様々な大テーマが提案され、積極的に取り組まれていました。3×3の9マスの真ん中に大テーマを書き込み、周りの8マスにはそれに関連する事項を埋めていきます。この1つ1つが小テーマとなります。ここから1つを選んで、新しい別の紙の9マスの中心に書き込み、同じ様に繰り返していきます。

今回は、小テーマを2つ選んで展開して行きました。最後は、各班からお持ち帰りしてもらいたいお薦めの考えを1つずつ発表してもらいました。簡単にまとめたものを掲載しています。



野田先生のアイスブレイクで和やかにスタート。

今回のお菓子はこちら



「とらやの最中」

チーム	大テーマ	小テーマ1	小テーマ2	お持ち帰りのお薦め
①	高血糖	運動不足	食べすぎ	甘いものは買って置かない
②	災害	逃げる	持ち物	保険証・お薬手帳
③	低血糖	食事	薬の調整	家人・友人に声を掛けてもらう
④	高血糖	食事	運動	家事(拭き掃除)をする
⑤	合併症予防	がん予防	認知症予防	人のためになることをする
⑥	高血糖	食べすぎ	運動	散歩を日課にする



盛り上がります

あーじゃない、こーじゃない。えいっ、書くわよ!

ここに掲載したのはほんの一部で、驚くほど多くの意見が交わされました。ありがとうございます。スタッフも助かりました。参加者の皆さんの本気度に感服です!

今回の茶話会では、低カロリーのお菓子をたくさんではなく、ちょっといいお菓子を少しいただくことで、「心豊かな生活を送りましょう」と提案させて頂きました。「とらやの最中」はいかがでしたか?ちょっと高価なお菓子を大事に頂く...心が満腹になりそうです。

毎度、参加者の方々の底力には驚かされ、スタッフとして学ぶことも多い茶話会です。次回も本音トークお聞かせください。またお会いしましょう。

ふくの会運動教室は、糖尿病患者さんであればどなたでも参加可能です。お問い合わせは、糖尿病・内分泌外来までお願いします。

春のレシピ

簡単!

春のちゃちゃっと白和え

1人分の栄養量

エネルギー75kcal たんぱく質4g 炭水化物6g 脂質3g
食塩相当量0.5g 食物繊維1.5g

【材料(3人分)】

- 木綿豆腐 150g
- ほうれん草 1/2把
- 新ごぼう 1/3本
- 人参 1/4本
- しめじ 1/3株
- 砂糖 大さじ1杯
- 薄口醤油 大さじ1/2杯
- すりごま 大さじ1杯

【作り方】

- 1 豆腐をざるに入れ、水切りをする。
- 2 ほうれん草は洗ってラップに包み、レンジで加熱する。加熱が終わったら、ラップのまま水を張ったボールに入れる。荒熱が取れたらラップを外して水にさらし、水を切って3cmの長さにカットする。カットした人参、ささがきごぼう、しめじもレンジで加熱し荒熱をとる。*野菜は、水気を切らずにゆるくラップをして、時間は1~2分から様子を見ながら加熱をする。
- 3 豆腐を荒くつぶし、調味料、2の野菜を加えて和える。

今回は、手間のかかる白和えをレンジで加熱した野菜と合わせた簡単料理です。香りの良い新ごぼうを具材に加えました。野菜の下茹では手間がかかりますが、レンジを使えば手間もはぶけ、水溶性ビタミンも逃さずに召し上がっていただけます。

